片地保育園へこいのぼりの贈呈

４月１９日、おもちゃのキャッツアイから片地保育園へ、こいのぼり３匹とふきながしを贈呈していただきました。園では、毎年４月の大安の日からこいのぼりを揚げ始めるのですが、今年は例年よりもひと回り大きいこいのぼりに、子どもたちも大喜び。『かたじってなまえがかいちゅう！』と園名入りの“吹き流し”を見て、毎日こいのぼりを揚げるのを楽しみにしています。年長組は、折り紙でこいのぼりを折り、お礼の手紙を送りました。

高齢者救助の山田小３人に記念品贈呈

３月中旬に小学校近くの踏切内で動けなくなった高齢男性がいることを発見し、非常ボタンで知らせて事故を防いだとして、山田小学校３年生の門田好未さん、５年生の大塚紅花さんと横山亜優夢さんに、５月６日、市長から記念品を贈呈し、人命救助に貢献した３人の勇気ある行動を称えました。ＪＲ四国からも感謝状が贈られています。

Tokyo Tomoさん 市長への表敬訪問

４月２８日、市内在住のマジシャンTokyo Tomoさんが、マジックの世界選手権にアジア代表として出場が決定したことを受け、市長のところへ報告に来られました。今後、行う予定のマジックショーの紹介を始め、メリケンハットを用いたマジックを披露し、市長は見事な技にすっかり感心していました。

Tokyo　Tomoさんは、パフォーマーぱわぁさんとのユニット『まわりみち』として、今年７月にカナダのケベックシティで開催される『FISM QUEBEC　２０２２』に、アジア代表として唯一コメディ部門に参戦されます。

集落地名石碑「別役」除幕式

５月１日、地域の方々が集まり、集落地名石碑『別役』の除幕式が行われました。石碑は、令和４年２月に物部町別役の小松神社氏子集落である宇根、阿野地、瀬次郎、津々呂の４地区に設置されています。

１９５５年ごろの別役は、戸数５１戸、人口２７８人であり、古くから栄えていた村でした。地元の方々の「昔を偲ぶ地名を残したい」という思いにより、石碑が設置されました。

令和４年　春の叙勲

令和４年４月２９日に発令された
春の叙勲の市内受章者を紹介します。
※承諾いただいた方のみ掲載

春の叙勲
瑞宝単光章（消防功労）

吉川　元美さん（７２歳）
香北町永野

吉川さんは、昭和４７年１月香北町消防団団員になって以来、４５年の間、消防団に在籍されました。分団長を経て、消防団の副団長も務められ、団長を補佐し、消防団組織の充実強化、団員確保に努め、幹部団員として団員の育成に尽力されました。

消防団人生の中で、印象に残っているのは、消防団に入団した当初に永野地区で発生した家屋の火災。すぐに現場に駆け付けることができたのは、同時期に入団した新団員の４人だけだったようです。消火の手順がわからず、右往左往していたが、新団員の中に自衛隊出身の方がおり、その方を中心に何とか消火準備をしていたところ、先輩団員が集まり、無事鎮火することができてほっとしたことを覚えていると話されていました。

現在も、株式会社きのこセンターで勤務されたり、地域安全推進委員として地域をパトロールされるなど、多方面で活躍されています。

香美市民憲章　―平成24年4月1日制定―

前文　私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。
先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、
誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

本文　1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

©やなせたかし 香美市イメージキャラクター